



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月25日

上場会社名 櫻島埠頭株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9353 URL <http://www.sakurajima-futo.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷本 祐介
 問合せ先責任者(役職名) 取締役(経理部担当) (氏名) 佐藤 禎広 (TEL) (06)-6461-5331
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,037	12.2	92	270.6	157	120.1	103	106.2
2025年3月期第1四半期	924	△3.6	24	△31.8	71	△1.2	49	17.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 63百万円(△81.4%) 2025年3月期第1四半期 338百万円(△7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	67.92	—
2025年3月期第1四半期	33.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	10,907	6,974	63.9
2025年3月期	11,098	6,970	62.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 6,974百万円 2025年3月期 6,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,900	△4.5	90	△12.9	150	1.1	100	△11.0	65.93
通期	4,100	△5.5	200	△1.5	330	10.1	220	△5.6	145.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	1,540,000株	2025年3月期	1,540,000株
2026年3月期1Q	23,305株	2025年3月期	23,251株
2026年3月期1Q	1,516,722株	2025年3月期1Q	1,511,827株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日~2025年6月30日)のわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により、景気の緩やかな回復基調が続いている一方で、継続的な物価上昇やエネルギーコストの高止まり、米国の通商政策への懸念等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような情勢のもと、当社グループは、第4次中期経営計画(2024年度~2026年度)「産業構造の変化に対応する次世代ビジネスへのStep2」の下、次世代に残せる事業構造への転換を図りサステナビリティ経営を推進することで、当社グループを取り巻く全てのステークホルダーに貢献することを最重要課題と位置付け、経営環境の大きな変化に対応するため、更なる企業価値の向上に努めております。

産業構造の変化への対応として、必要な投資の検討・実施、また、既存設備への効率的なメンテナンスを実施していくことで、中長期的視点に立った事業ポートフォリオの継続的改善を行うとともに、新規ビジネスを開拓・育成することや地場産業との関係を深め、わが社の強みを生かした付加価値のある仕事を追求し、長期に亘り安定した収益を維持・拡大できる事業基盤の強化に努めております。

ばら貨物については、安定したサービスを継続的にご提供するため、設備の更新工事を進めるとともに、お客様へのより一層の付加価値の高い物流サービスをご提供できるよう、汎用性の高いばら貨物倉庫の新設に向け準備を進めております。液体貨物に関しても、メンテナンスを適時・的確に行い事業の安定性を高めるとともに、タンクの更新・新設を含めた設備投資を検討しております。また、倉庫事業に関しても、パートナー様と連携を強化し、収益改善に向け様々な取り組みを検討しております。

上記の事業活動を踏まえ、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,037百万円となり、前年同期に比べ112百万円、12.2%の増収となりました。

売上原価は、主にばら貨物セグメントにおける荷役業務の増加に伴い荷役関係諸払費が増加したことなどにより、797百万円となり、前年同期に比べ49百万円、6.7%の増加となりました。販売費及び一般管理費につきましては、人件費等が増加したものの、前期に計上したシステム関連費用が減少したことなどから、147百万円となり、前年同期に比べ4百万円、3.0%の減少となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は92百万円となり、前年同期に比べ67百万円、270.6%の増益となりました。また、経常利益につきましては、受取配当金を収受したことなどにより、前年同期に比べ85百万円、120.1%の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、103百万円となり、前年同期に比べ53百万円、106.2%の増益となりました。

セグメント別の営業の概況は、次のとおりです。

(ばら貨物セグメント)

ばら貨物については、保管業務において、各倉庫が期初より安定して稼働したことに加え、荷役業務において、主に石炭やイルメナイトの取扱数量が増加したことなどにより増収となり、ばら貨物セグメントの売上高は548百万円、前年同期に比べ101百万円、22.8%の増収となりました。ばら貨物セグメントの営業損失は10百万円となりました(前年同期は55百万円の営業損失)。

(液体貨物セグメント)

液体貨物については、前期に収受したタンク運営に係る特別作業料が無くなったものの、タンクの稼働率が期初から堅調に推移したことなどから、液体貨物セグメントの売上高は349百万円となり、前年同期に比べ10百万円、3.2%の増収となりました。液体貨物セグメントの営業利益は148百万円となり、前年同期より16百万円、12.7%の増益となりました。

(物流倉庫セグメント)

物流倉庫については、各倉庫が期初より安定して稼働したことなどにより、物流倉庫セグメントの売上高は132百万円となり、前年同期並みとなりました。物流倉庫セグメントの営業利益は58百万円となり、前年同期より1百万円、2.8%の減益となりました。

(その他のセグメント)

その他のセグメントの売上高については、売電事業により、前年同期並みの6百万円となりました。その他のセグメントの営業利益は前年同期並みの2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は10,907百万円となり、前連結会計年度末に比べて191百万円減少しました。これは借地料に係る前払費用（流動資産その他）が増加したものの、借地料や修繕費の支払などにより現金及び預金が減少したことなどによるものです。

負債合計につきましては、修繕費等に係る未払費用（流動負債その他）の減少や長期借入金の返済などにより、前連結会計年度末に比べて194百万円減少し、3,932百万円となりました。

純資産合計につきましては、その他有価証券評価差額金が減少したものの、利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて3百万円増加し、6,974百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績や今後の業務計画等を検討した結果、2025年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	941,131	630,085
売掛金	401,779	418,304
リース投資資産	644,234	622,340
貯蔵品	51,432	55,827
その他	79,411	202,574
貸倒引当金	△4,894	△4,719
流動資産合計	2,113,094	1,924,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,443,230	2,405,729
その他	1,088,518	1,150,604
有形固定資産合計	3,531,748	3,556,333
無形固定資産		
投資その他の資産	291,991	291,808
投資有価証券	4,718,877	4,660,618
その他	442,542	473,880
投資その他の資産合計	5,161,419	5,134,498
固定資産合計	8,985,160	8,982,640
資産合計	11,098,255	10,907,055
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	133,222	114,560
1年内返済予定の長期借入金	294,236	298,736
未払法人税等	42,647	38,943
賞与引当金	46,131	24,378
業績連動報酬引当金	1,200	1,200
その他	563,689	489,005
流動負債合計	1,081,125	966,823
固定負債		
長期借入金	1,330,884	1,275,050
繰延税金負債	1,156,470	1,146,289
環境対策引当金	51,055	49,774
退職給付に係る負債	2,930	2,951
資産除去債務	28,350	28,350
その他	476,824	463,490
固定負債合計	3,046,515	2,965,906
負債合計	4,127,641	3,932,730

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	770,000	770,000
資本剰余金	369,948	369,966
利益剰余金	3,224,527	3,268,236
自己株式	△34,234	△34,326
株主資本合計	4,330,241	4,373,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,640,372	2,600,447
その他の包括利益累計額合計	2,640,372	2,600,447
純資産合計	6,970,614	6,974,324
負債純資産合計	11,098,255	10,907,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	924,843	1,037,409
売上原価	748,000	797,894
売上総利益	176,842	239,515
販売費及び一般管理費	152,007	147,468
営業利益	24,835	92,046
営業外収益		
受取利息	111	125
受取配当金	48,042	67,776
その他	5,443	4,176
営業外収益合計	53,597	72,078
営業外費用		
支払利息	5,469	5,996
遊休設備費	895	896
その他	633	27
営業外費用合計	6,999	6,920
経常利益	71,433	157,205
特別利益		
固定資産売却益	2,699	—
特別利益合計	2,699	—
特別損失		
固定資産除却損	2,096	700
特別損失合計	2,096	700
税金等調整前四半期純利益	72,037	156,505
法人税、住民税及び事業税	24,086	45,342
法人税等調整額	△2,004	8,152
法人税等合計	22,082	53,495
四半期純利益	49,955	103,009
親会社株主に帰属する四半期純利益	49,955	103,009

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	49,955	103,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	288,317	△39,925
その他の包括利益合計	288,317	△39,925
四半期包括利益	338,272	63,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	338,272	63,084

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ばら貨物	液体貨物	物流倉庫	計				
売上高								
外部顧客への売上高	446,626	338,799	133,243	918,669	6,174	924,843	—	924,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	446,626	338,799	133,243	918,669	6,174	924,843	—	924,843
セグメント利益又は損失 (△)	△55,967	131,360	59,740	135,133	3,045	138,178	△113,343	24,835

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△113,343千円は、各報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ばら貨物	液体貨物	物流倉庫	計				
売上高								
外部顧客への売上高	548,383	349,795	132,843	1,031,022	6,387	1,037,409	—	1,037,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	548,383	349,795	132,843	1,031,022	6,387	1,037,409	—	1,037,409
セグメント利益又は損失 (△)	△10,515	148,106	58,054	195,645	2,840	198,486	△106,439	92,046

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△106,439千円は、各報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	99,538千円	96,293千円